

中央労働災害防止協会国際安全衛生センター 小澤 真一

— 60 —

また、イギリス王立災害防止協会（Royal Society for the Prevention of Accidents, RoSPA）発行の「OS&H」についても目次やニュースの紹介を行っています。著作権の関係で記事の全文を翻訳して紹介することができないのは残念ですが、「時の話題は何か」はつかめると思っております。

どの分野においても国際化は避けて通れないものとなりました。現時点で、海外情報が必要で無い方もどこにいれば情報が手にはいるかを知っていることは重要かと思います。

米国の国立安全衛生研究所 (National Institute for Occupational Safety and Health, NIOSH) は、日本の旧厚生省に相当する DHHS (Department of Health and Human Services,) の疾病コントロールセンター (Center of Disease Control) に所属する機関です。NIOSH のホームページからは化学物質の危険防止 NIOSH ガイドライン (Occupational Safety and Health Guidelines for Chemical Hazards) や化学物質毒性情報 (REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES) など充実したデータベースも利用できますが、ここでは、“Alerts” をご紹介します。

Alert は文字通り警戒警報です。NIOSH が労働災害に関して新しく得た情報を迅速に提供するものです。労働者、事業者及び安全衛生関係者はこの情報に基づき、リスクを最小限とし適切な管理を行うため機敏な対応をとる必要があるとされています。1980年以來56の警報が発せられており、年平均では3件程度と数は少ないものの、安全衛生関係者にとって見逃してはならない情報といえましょう。昨年は①エチレンオキシド滅菌装置の

爆発防止、②フォークリフトによる災害の防止及び③医療における注射針差し事故の防止についての3件の警報が出されました。このうち②の内容については日本の法令において既に措置されていると考えられましたのでタイトルだけの翻訳とし、①と③についてその要約を当センターホームページに掲載しております。

NIOSH 番号	タイトル
99-146	建築物崩壊による消防士の事故防止
99-126	燻蒸中のホスフィンによる中毒と爆発の防止
99-110	電氣的、機械的その他の制御不能なエネルギー放出による事故防止
98-142	交通事故車の衝突による労働者の死傷の防止
98-118	ガソリンを動力とするエンジンおよび工作機械による一酸化炭素中毒の防止
97-135	天然ゴムラテックスによるアレルギー防止
97-116	動物取り扱い者の喘息防止
97-110	移動式ごみ収集車による労働者の死傷防止
96-112	建設業労働者の珪肺防止
96-111	ジイソシアネートの曝露による喘息防止

最近 5 年間に発せられた警報は上表のとおりと多岐にわたっています。これまでの警報についても、順次要約を提供していくこととしています。当センターホームページからは、NIOSH 該当ページ (<http://www.cdc.gov/niosh/alerts2.html>) からオリジナルがダウンロードできるよう、リンクが張られています。どうぞご利用下さい。(JICOSH-国別情報-アメリカ-担当省庁-NIOSH から入るのが便利です。)

現在、各国の安全衛生情報は、日本語ホームページ〔国別情報〕の中に、「担当省庁」、「関係法令」、「災害統計」、「安全衛生団体」、「……における労働安全衛生」、「トピックス」に分類して提供しております。なかでも〔関係法令〕については問い合わせも多く、必要に応じ順次日本語化を図ることとしておりますが、現地語や英語翻訳資料の紹介機能を充実するよう努めております。当センターで入手している資料の紹介はもちろんのこと、各国政府や関係機関が開いているホームペー

ジを調べ、関係法令が入手できるサイトへリンクを張っています。「トピックス」の「労働法・労働安全衛生法」を選んでいただくと、

- ◆アジア太平洋地域
- ◆オーストラリア◆中国◆香港◆インド
- ◆インドネシア◆韓国◆マレーシア◆モンゴル
- ◆フィリピン◆シンガポール◆タイ◆台湾
- ◆ベトナム
- ◆北南米
- ◆アメリカ◆アルゼンチン◆ブラジル◆カナダ
- ◆メキシコ
- ◆ヨーロッパ
- ◆ドイツ◆フィンランド◆フランス◆イギリス
- ◆EU

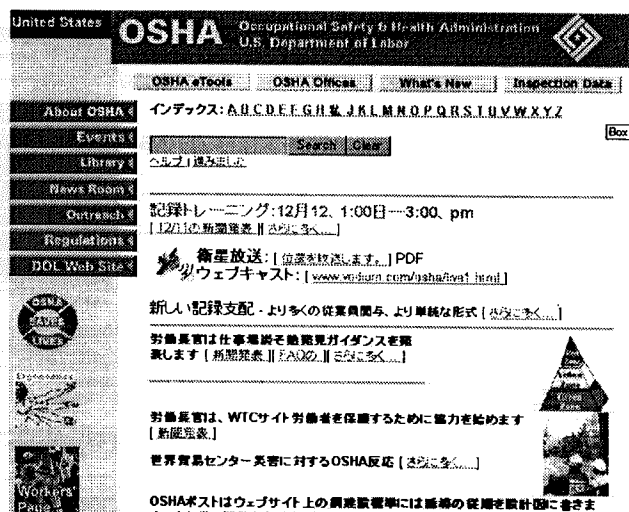
となっており、これらの国々について、日本語のものがあればそのページへ、なければ現地語か英語が入手できるページへ移動できるようになっています。

ここからリンクが張られている、ILOの“Asian-Pacific Regional Network on Occupational Safety and Health Information”や、欧州安全衛生機構（European Agency for Safety and Health at Work）のサイトは、質、量ともに充実しています。基本言語が英語となっており、ドイツやフランス、タイなど非英語圏の情報もある程度英語で入手できる点もありがたいところです。一度覗いてみてはいかがでしょうか。

4. 世界のホームページ

皆様よくご存じの米国 OSHA や英国 HSE（Health and Safety Executive）をはじめとして各国の労働安全衛生担当機関からインターネットを通じてどんどん情報が提供されています。当センターでも随時アンテナを張り必要な情報の提供に努めていますが、なかなかそのスピードに付いていけません。直接これらのページを訪ねてはいかがでしょうか。当センターのホームページでは各国担当機関の入口までご案内しております。エキサイトやアルタビスタというサイトの無料の翻訳ソフトを使うと完全にはいきませんが、おおよその感じが掴める程度の訳がご覧になれます。

<http://www.excite.co.jp/world/url/>
<http://world.altavista.com/> の translate



エキサイトで自動翻訳した OSHA のページ

5. おわりに

ここでご紹介したもののほか、当センターホームページでは、約1万2千語の日本語—英語の対訳用語集、日本の安全衛生法、同施行令、同規則等の英語版、日本の安全衛生法令の解説（日・英）等も用意しております。また、各国の情報をいくつかのトピックスに分類して提供しているほか、海外の事故情報を扱うコーナーなども設置しております。是非、ご活用下さるようお願いいたします。

当センターでは、今後とも各国情報の収集・提供に努めて参りますが、ご協力戴ける方を募集中です。以下の業務に興味を持たれたコンサルタントの皆様是非、info@jicosh.gr.jp へ連絡下さい。
 [募集]

- 1 英語、中国語、仏語、独語等の安全衛生関係資料を翻訳し、ワードか HTML にて入稿して下さい。
- 2 海外で外国人に安全衛生を教育した経験をお持ちの方。特に4S（5S）やKYTについて実績をお持ちの方。
- 3 海外赴任の経験が豊富で、これから海外に進出しようとする企業や海外赴任が予定されている者に対し種々の情報を提供下さる方。特に中国について情報をお持ちの方。